

# 技術 SEEDS NEEDS

研究を  
事業化する  
プロデューサー  
PRODUCE

市場を創り出す  
ビジネス

## 日本の未来を創る人材と事業を!

### 講座コンセプト

企業の競争力ある製品の開発において、自社の研究シーズだけでは事業化のスピード、国際競争優位性や収益性に問題があり、一方で大学や研究機関のシーズを活用するには、データや用途などの検証が不十分で、事業化が思う様に進まないという状況にあります。その現状を打開するために技術とビジネスの双方を理解し、研究から収益を生む事業に主体的に高めていく「プロデューサー」が求められています。

本講座はオープンイノベーションの事例や取組みのポイント、外部との契約や知財の問題、共同研究の進め方などを理解し、外部との連携から事業化を進める経験を体験できるプログラムを提供し、研究開発を事業化するにあたっての課題を打破できる「プロデューサー」人材の育成を目的としています。

座学だけではなく、参加者間での議論や学び合いの機会を提供し、相互に啓発する内容であり、異業種間の交流、人脈が自然に生まれる場もご用意。日々、第一線で活躍されている講師陣の方々との出会いも修了後において貴重な人脈となります。既に、過去6年間実施した講座参加者からは、実際の共同研究に進んだ案件や国などの支援事業に採択された案件も多くあります。



Knowledge Frontier OSAKA

#### おおさかなレッジ・フロンティア推進機構とは?

テクノロジーベースの新しいビジネスを創出することで、次世代の日本の産業を担う企業や事業を産み出すキッカケ作りを行うことを目的とし公益財団法人大阪市都市型産業振興センター内に発足したプロジェクトです。大学発ベンチャー支援や、新規事業創出の支援を中心に行っております。

### 受講 対象

- 1) 企業において新事業の展開を志向する経営者、開発担当者
- 2) 研究機関のシーズをもとに起業を志向される方
- 3) 研究開発成果での新商品の企画・開発・マーケティング担当者

### 本養成講座の特徴

研究を事業化する実践力の向上に重点を置いたカリキュラム

#### 外部研究機関との連携の実体験

大学やベンチャーの研究者や経営者へのシーズのヒアリングから事業プラン作成まで実際に希望の分野の案件で行う。講座終了後も実際の事業化につながることも。

#### 事業プランの企画力向上

異業種の参加者や経験豊かな講師陣との議論を通じて、事業プランを練り上げていく過程を実践。

#### 異業種の方々とのプロジェクトでのチームワーク力向上

合宿やワークショップの共同作業を通じて、結果を出していく経験と講座後も続く関係の構築。

#### 事業家や専門家などの講師陣との交流

講師陣やシーズのコーディネーターは、現在、一線で活躍されている方であり、講座終了後も関係を継続する参加者が多い。

#### プレゼン能力、提案力の向上

事業プランの構築、プランのプレゼンを通じ、又、同期の参加メンバーからのフィードバック等を通じて簡潔なプレゼンを行うトレーニング。参加者夫々の工夫を凝らした発表手法が互いの発表内容を高めます。

#### 講座修了後も活用できる外部連携の人脈形成

講座が終わり、実際の事業で新規事業を行う上での、外部技術情報の探索や資金調達などのサポートを行うことが可能な外部機関との連携機能が組み込まれています。

## 実際に研究者のシーズを事業化に向けて取り組んだ事例と参加者の声

### CASE 01 ベンチャー企業研究者



▲医療機器関連ベンチャー研究責任者（女性）



▲異分野の処理技術の研究を行っている研究者へヒアリング



▲試作品の開発へ



▲大学と共同で助成金申請

実習で訪問した某大学の研究者に相談した内容から、事業の課題解決に繋がりました。先生の研究は私たちの扱う分野と違う分野での研究でしたが先生が研究されている手法を別の分野に応用することで大きな成果に化けそうな状況です。

共同研究の進め方を系統だてて学べますし、研究者の技術シーズを活用したビジネスプランのプレゼンテーションの機会が数回あり、プレゼンテーションのポイントの習得や、自身の話し方の癖なども動画で確認できました。講座に参加している方々の発想や、事業プランのプレゼンテーションの方法はオリジナリティーがあり大変良い刺激になりました。この講座に参加した企業の新規事業担当者、経営者、研究者、講座の講師の皆様とは継続的に交流があり、講座修了後も色々と相談ができる関係ができたことも大きな成果です。

### CASE 02 企業の事業企画担当者



▲材料系企業技術企画担当（男性）



▲化学分野・有機反応系の基礎研究を行う大学研究者へヒアリング



▲大学研究者が受講生の提案に賛同。共同研究へ助成金申請へ



▲受講生間でアイデアを出し自社技術と融合させた応用技術を提案

外部技術を自社の成果と結び付ける研究企画担当の自分に最適な講座だと思い、受講しました。「毎回、宿題をきっちりやり出席しないと、ついていけなくなる。」との前評判どおりの講義でした。講座を通して異業種・異分野の方と頻りに意見交換できたのは非常に意義がありました。特に合宿でのディスカッションは印象的で短期集中型で多様な視点からアイデアを出し合うと、化学変化が起こって、その可能性が非常に膨らむことを体感しました。

これまで共同研究・開発に対して難しく考えていましたが、講座での学び・体験を通して産学連携に対して肩の力が抜けてスッキリした感覚になりました。

### 受講生コメント

事業化の基本的な考え方、目のつけどころを教えていただいたのが良かったです。

30代女性(バイオ系)

本来教えてもらえないような情報も教えていただき面白かったです。

30代男性(材料系)

すばらしいメンバーと互いに勉強でき、とても幸せでした。今後も皆様と情報を交換していきたいと思います。

40代男性(化学系)

私は、いろいろな教育を受けましたが、事務局、受講生、講師がこんなに気持ちの入ったものはないなと思います。

40代男性(デバイス系)

研究者との幸運な出会いのお陰で、自分も思わぬ進展があり、びっくりしました。

40代男性(材料系)



昨年の参加者の皆様と講師

「研究を事業化するプロデューサー養成講座」は大阪市からの委託を受け、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターが運営しております。